API 仕様書

（連携基盤編）

一般公開_OD

第 4.0 版

令和８年６月１０日

API 仕様書（連携基盤編）一般公開_OD

目 次

第 1 章　はじめに 1-1

1.1 本仕様書の目的及び概要 1-2

1.2 API 仕様書の定義項目 1-2

第 2 章　API の定義 2-3

2.1 API 機能概要 2-4

2.2 API 一覧 2-4

2.3 OD データ取得 API(一般公開向け) 2-4

2.3.1　エンドポイント（接続先 URL） 2-4

2.3.2　サンプル 2-5

2.3.3　データ種別一覧 2-5

2.3.4　CQL フィルタ　発ゾーン 2-6

2.3.5　CQL フィルタ　着ゾーン 2-6

2.3.6　CQL フィルタ　発集量 2-7

2.3.7　データ種別：OD 交通量　都道府県　乗用車　発ゾーン 2-7

2.3.8　データ種別：OD 交通量　都道府県 小型貨物車　発ゾーン 2-11

2.3.9　データ種別：OD 交通量　都道府県 普通貨物車　発ゾーン 2-15

2.3.10 データ種別：OD 交通量　都道府県 車種計　発ゾーン 2-19

2.3.11 データ種別：OD 交通量　都道府県　乗用車　着ゾーン 2-23

2.3.12 データ種別：OD 交通量　都道府県 小型貨物車　着ゾーン 2-27

2.3.13 データ種別：OD 交通量　都道府県 普通貨物車　着ゾーン 2-31

2.3.14 データ種別：OD 交通量　都道府県 車種計　着ゾーン 2-35

2.3.15 データ種別：発生･集中交通量　都道府県　乗用車　発集量 2-39

2.3.16 データ種別：発生･集中交通量　都道府県　小型貨物車　発集量 2-43

2.3.17 データ種別：発生･集中交通量　都道府県　普通貨物車　発集量 2-47

2.3.18 データ種別：発生･集中交通量　都道府県　車種計　発集量 2-51

第 3 章　用語集 3-56

第1章　はじめに

1.1 本仕様書の目的及び概要

本書は、道路データプラットフォームにおいて、各種データを配信するサービス（API）の仕様を示すものである。

API 仕様書は以下の 2 点で構成されている。

・API 仕様書（本書）

・WEB-API インタフェース仕様書

「API 仕様書」は、API の基本的な記述仕様を示すものとする。

「WEB-API インタフェース仕様書」は API にて扱うデータ項目のパラメータ名を示すものとする。

1.2 API 仕様書の定義項目

本 API 仕様書における定義項目は以下表 1-1 の通りである。

表 1-1 API の定義項目

題名	内容
エンドポイント（接続先 URL）	API のエンドポイント及び接続情報
サンプル	リクエストパラメータで指定する項目一覧
データ種別一覧	API で取得できるデータ種別と概要
各データ種別	API で取得できる各データ種別 ※詳細の定義項目は表 1-1 を参照

表 1-2 各データ種別の定義項目

項目	内容
バージョンコードと文字コード	API のリクエストの形式毎のバージョン指定と文字コードの一覧
サービス種別	サービス種別の概要
リクエスト	API リクエストのパラメータや例
レスポンス	API レスポンスのパラメータや例
エラーコード	API リクエスト時のエラーレスポンスの詳細

第2章 API の定義

2.1 API 機能概要

API を通じて、道路データプラットフォームが提供するデータを配信する。
API 連携時のリクエスト形式の詳細を以下に示す。

(1) WFS
地理情報のベクターデータを交換するためのプロトコルである。WFS を使用すると、ユーザーは地理的なデータをその属性情報とともに取得でき、データをより柔軟に操作することが可能になる。

2.2 API 一覧

道路データプラットフォームが提供する API で取得可能なデータと接続先 URL を以下に示す。各 API の接続情報等の詳細情報は以下をご参照ください。

表 2-1 取得データごとの接続先 URL

データ名	URL	リンク
OD データ取得 API	https://api.xroad.mlit.go.jp/v1/RDPF/secure/wms /{リクエストパラメータ}	

2.3 OD データ取得 API(一般公開向け)

2.3.1 エンドポイント（接続先 URL）

OD データ取得 API のエンドポイント及び接続情報を以下に示す。

表 2-2 接続情報

URL	https://api.xroad.mlit.go.jp/v1/RDPF/secure/wms/{リクエストパラメータ}
認証方式	キー認証
ヘッダー	ご利用時にお問い合わせください
ヘッダーの設定値	ご利用時にお問い合わせください

2.3.2 サンプル

(1) リクエスト時のサンプル

リクエスト時のサンプルは以下の通りです。

(A) WFS

```
https://api.xroad.mlit.go.jp/v1/RDPF/secure/wms
?service=WFS
&version=2.0.0
&request=GetFeature
&typeNames=t_od_stzone_city_passenger_car
&srsName=EPSG:3857
&exceptions=application%2Fjson
&outputFormat=application%2Fjson
& cql_filter="年度" = 'R03' AND BBOX("ジオメトリ
",15588997.419794584,4271367.952953392,15594185.58308
944,4274960.493282796 ,'EPSG:3857')
```

図 2-1 リクエスト時のサンプルイメージ

(2) レスポンス時のサンプル

レスポンス時のサンプルは、各データ種別でのサンプルをご参照ください。

2.3.3 データ種別一覧

API 利用時にリクエストパラメータを設定することで、OD データから取得できるデータ種別を指定できる。取得可能なデータ種別と概要を表 2-3 に示す。

表 2-3 データ種別と概要

No	データ種別	リンク
1	OD 交通量 都道府県 乗用車 発ゾーン	
2	OD 交通量 都道府県 小型貨物車 発ゾーン	
3	OD 交通量 都道府県 普通貨物車 発ゾーン	
4	OD 交通量 都道府県 車種計 発ゾーン	
5	OD 交通量 都道府県 乗用車 着ゾーン	
6	OD 交通量 都道府県 小型貨物車 着ゾーン	
7	OD 交通量 都道府県 普通貨物車 着ゾーン	
8	OD 交通量 都道府県 車種計 着ゾーン	
9	発生・集中交通量 都道府県 乗用車 発集量	

No	データ種別	リンク
10	発生・集中交通量　都道府県　小型貨物車　発集量	
11	発生・集中交通量　都道府県　普通貨物車　発集量	
12	発生・集中交通量　都道府県　車種計　発集量	

2.3.4 CQL フィルタ　発ゾーン

OD データ取得 API 発ゾーンのリクエストパラメータで指定可能な CQL フィルタの項目名と説明を以下に記載します。

表 2-4　CQL フィルタ　発ゾーンの項目名と説明

項目名	必須	説明
年度	Y	年度で絞り込みを行う場合に指定する。 "年度"='R03' 'R03'：令和 03 年
ジオメトリ		座標を範囲指定して絞り込みを行う場合に指定する。 BBOX("ジオメトリ",最小 x 座標,最小 y 座標,最大 x 座標,最大 y 座標,'EPSG:3857')

2.3.5 CQL フィルタ　着ゾーン

OD データ取得 API 着ゾーンのリクエストパラメータで指定可能な CQL フィルタの項目名と説明を以下に記載します。

表 2-5　CQL フィルタ　着ゾーンの項目名と説明

項目名	必須	説明
発ゾーンコード	Y	発ゾーンコードで絞り込みを行う場合に指定する。 "発ゾーンコード"='1234567'
着ゾーンコード	Y	着ゾーンコードで絞り込みを行う場合に指定する。 "着ゾーンコード"='2345678'
年度	Y	年度で絞り込みを行う場合に指定する。 "年度"='R03' 'R03'：令和 03 年
ジオメトリ		座標を範囲指定して絞り込みを行う場合に指定する。 BBOX("ジオメトリ",最小 x 座標,最小 y 座標,最大 x 座標,最大 y 座標,'EPSG:3857')

2.3.6 CQL フィルタ 発集量

OD データ取得 API 発集量のリクエストパラメータで指定可能な CQL フィルタの項目名と説明を以下に記載します。

表 2-6 CQL フィルタ 発集量の項目名と説明

項目名	必須	説明
年度	Y	年度で絞り込みを行う場合に指定する。 "年度"='R03' 'R03'：令和 03 年
目的コード	Y	目的別で絞り込みを行う場合に指定する。 "目的コード"='01' '01':通勤・通学、'02':業務、'03':私事、'04':帰社・帰宅、'05':営業、'06':その他、'08':分類外、'09':不明、'10':目的計
発集種別	Y	発集種別で絞り込みを行う場合に指定する。 "発集種別"=1 1:発生量、2:集中量、3:発集量
ジオメトリ		座標を範囲指定して絞り込みを行う場合に指定する。 BBOX("ジオメトリ",最小 x 座標,最小 y 座標,最大 x 座標,最大 y 座標,'EPSG:3857')

2.3.7 データ種別：OD 交通量 都道府県 乗用車 発ゾーン

「データ種別：OD 交通量 都道府県 乗用車 発ゾーン」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-7 バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-8 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	OD 交通量の都道府県 乗用車発ゾーンの値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-9 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_stzone_pref_passenger_car"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
7	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
8	cql_filter	Y		以下のCQLフィルター項目をAND条件で指定する。 例：cql_filter ="年度" = 'R03' AND BBOX("ジオメトリ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は＜2.3.4 CQL フィルタ 発ゾーン＞参照

（b） サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-10 レスポンス時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	array	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point 1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	object	ジオメトリ以外の取得情報 ゾーンコード~更新日が含まれる
10	ゾーンコード	ゾーンコード	string	該当拠点のゾーンコード
11	ゾーン名称	ゾーン名称	string	該当拠点のゾーン名称
12	年度	年度	string	該当データの年度
13	ゾーン内々交通量（トリップ）	内部トリップ数	number	拠点内の内々交通量（トリップ）
14	ゾーン発交通量計（トリップ）	上りトリップ数合計値	number	ゾーン出発点交通量の合計値（トリップ）
15	ゾーン着交通量計（トリップ）	下りトリップ数合計値	number	ゾーン到着点交通量の合計値（トリップ）
16	作成日	作成日	string	レコードの作成日
17	更新日	更新日	string	レコードの更新日
18	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
19	フィーチャー致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
20	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
21	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
22	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
23	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
24	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
25	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_stzone_pref_passenger_car.2200000000",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
               15562511.78972476,
               4221580.21360494
            ]
         },
         "geometry_name": "ジオメトリ",
         "properties": {
            "ゾーンコード": "22",
```

```
            "ゾーン名称": "テストゾーン",
            "年度": "R03",
            "内部トリップ数": 300,
            "上りトリップ数合計値": 300,
            "下りトリップ数合計値": 300,
            "作成日": "2023-12-25T00:00:00Z",
            "更新日": "2023-12-25T00:00:00Z"
         }
      }
   ],
   "totalFeatures": 1,
   "numberMatched": 1,
   "numberReturned": 1,
   "timeStamp": "2024-03-12T09:28:38.228Z",
   "crs": {
      "type": "name",
      "properties": {
         "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
      }
   }
}
```


図 2-2 エラー時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName,
featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-3 エラー時のサンプルイメージ

2.3.8 データ種別：OD 交通量 都道府県 小型貨物車 発ゾーン

「データ種別：OD 交通量 都道府県 小型貨物車 発ゾーン」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-11 バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-12 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	OD 交通量の都道府県小型貨物車発ゾーンの値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-13 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_stzone_pref_small_cargo"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	bbox			最小x座標,最小y座標,最大x座標,最大y座標の順にカンマ区切りの配列で指定する。
7	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
8	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
9	cql_filter	Y		以下のCQLフィルター項目をAND条件で指定する。 例：cql_filter ="年度" = 'R03' AND BBOX("ジオメトリ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は＜2.3.4 CQL フィルタ 発ゾーン＞参照

（b） サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-14 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	array	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point 1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	object	ジオメトリ以外の取得情報 ゾーンコード～更新日が含まれる
10	ゾーンコード	ゾーンコード	string	該当拠点のゾーンコード
11	ゾーン名称	ゾーン名称	string	該当拠点のゾーン名称
12	年度	年度	string	該当データの年度
13	ゾーン内々交通量（トリップ）	内部トリップ数	number	拠点内の内々交通量（トリップ）
14	ゾーン発交通量計（トリップ）	上りトリップ数合計値	number	ゾーン出発点交通量の合計値（トリップ）
15	ゾーン着交通量計（トリップ）	下りトリップ数合計値	number	ゾーン到着点交通量の合計値（トリップ）
16	作成日	作成日	string	レコードの作成日
17	更新日	更新日	string	レコードの更新日
18	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
19	フィーチャー致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
20	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
21	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
22	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
23	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
24	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
25	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_stzone_pref_small_cargo.2200000000",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
               15562511.78972476,
               4221580.21360494
            ]
         },
         "geometry_name": "ジオメトリ",
         "properties": {
            "ゾーンコード": "22",
            "ゾーン名称": "テストゾーン",
            "年度": "R03",
```

```
            "内部トリップ数": 300,
            "上りトリップ数合計値": 300,
            "下りトリップ数合計値": 300,
            "作成日": "2023-12-25T00:00:00Z",
            "更新日": "2023-12-25T00:00:00Z"
         }
      }
   ],
   "totalFeatures": 1,
   "numberMatched": 1,
   "numberReturned": 1,
   "timeStamp": "2024-03-12T09:23:15.100Z",
   "crs": {
      "type": "name",
      "properties": {
         "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
      }
   }
}
```


図 2-4 エラー時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName, featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-5 エラー時のサンプルイメージ

2.3.9 データ種別：OD 交通量 都道府県 普通貨物車 発ゾーン

「データ種別：OD 交通量 都道府県 普通貨物車 発ゾーン」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-15 バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-16 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	OD 交通量の都道府県普通貨物車発ゾーンの値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

(a) パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-17 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_stzone_pref_normal_cargo"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
7	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
8	cql_filter	Y		以下のCQLフィルター項目をAND条件で指定する。 例：cql_filter ="年度" = 'R03' AND BBOX("ジオメトリ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は＜2.3.4 CQL フィルタ 発ゾーン＞参照

(b) サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

(a) パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-18 レスポンス時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	array	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point 1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	object	ジオメトリ以外の取得情報 ゾーンコード～更新日が含まれる
10	ゾーンコード	ゾーンコード	string	該当拠点のゾーンコード
11	ゾーン名称	ゾーン名称	string	該当拠点のゾーン名称
12	年度	年度	string	該当データの年度
13	ゾーン内々交通量（トリップ）	内部トリップ数	number	拠点内の内々交通量（トリップ）
14	ゾーン発交通量計（トリップ）	上りトリップ数合計値	number	ゾーン出発点交通量の合計値（トリップ）
15	ゾーン着交通量計（トリップ）	下りトリップ数合計値	number	ゾーン到着点交通量の合計値（トリップ）
16	作成日	作成日	string	レコードの作成日
17	更新日	更新日	string	レコードの更新日
18	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
19	フィーチャー致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
20	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
21	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
22	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
23	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
24	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
25	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_stzone_pref_normal_cargo.2200000000",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
               15562511.78972476,
               4221580.21360494
            ]
         },
         "geometry_name": "ジオメトリ",
         "properties": {
            "ゾーンコード": "22",
            "ゾーン名称": "テストゾーン",
            "年度": "R03",
```

```
            "内部トリップ数": 300,
            "上りトリップ数合計値": 300,
            "下りトリップ数合計値": 300,
            "作成日": "2023-12-25T00:00:00Z",
            "更新日": "2023-12-25T00:00:00Z"
         }
      }
   ],
   "totalFeatures": 1,
   "numberMatched": 1,
   "numberReturned": 1,
   "timeStamp": "2024-03-12T09:35:02.816Z",
   "crs": {
      "type": "name",
      "properties": {
         "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
      }
   }
}
```


図 2-6 エラー時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName, featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-7 エラー時のサンプルイメージ

2.3.10 データ種別：OD 交通量　都道府県 車種計　発ゾーン

「データ種別：OD 交通量　都道府県 車種計　発ゾーン」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-19 バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-20 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	OD 交通量の都道府県車種計発ゾーンの値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

(a) パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-21 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_stzone_pref_total"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
7	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
8	cql_filter	Y		以下のCQLフィルター項目をAND条件で指定する。 例：cql_filter ="年度" = 'R03' AND BBOX("ジオメトリ ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は<2.3.4 CQL フィルタ 発ゾーン>参照

(b) サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

(a) パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-22 レスポンス時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	array	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point 1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	object	ジオメトリ以外の取得情報 ゾーンコード~更新日が含まれる
10	ゾーンコード	ゾーンコード	string	該当拠点のゾーンコード
11	ゾーン名称	ゾーン名称	string	該当拠点のゾーン名称
12	年度	年度	string	該当データの年度
13	ゾーン内々交通量（トリップ）	内部トリップ数	number	拠点内の内々交通量（トリップ）
14	ゾーン発交通量計（トリップ）	上りトリップ数合計値	number	ゾーン出発点交通量の合計値（トリップ）
15	ゾーン着交通量計（トリップ）	下りトリップ数合計値	number	ゾーン到着点交通量の合計値（トリップ）
16	作成日	作成日	string	レコードの作成日
17	更新日	更新日	string	レコードの更新日
18	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
19	フィーチャー致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
20	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
21	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
22	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
23	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
24	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
25	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_stzone_pref_total.2200000000",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
               15562511.78972476,
               4221580.21360494
            ]
         },
         "geometry_name": "ジオメトリ",
         "properties": {
            "ゾーンコード": "22",
            "ゾーン名称": "テストゾーン",
            "年度": "R03",
```

```
            "内部トリップ数": 300,
            "上りトリップ数合計値": 300,
            "下りトリップ数合計値": 300,
            "作成日": "2023-12-25T00:00:00Z",
            "更新日": "2023-12-25T00:00:00Z"
         }
      }
   ],
   "totalFeatures": 1,
   "numberMatched": 1,
   "numberReturned": 1,
   "timeStamp": "2024-03-12T09:35:02.816Z",
   "crs": {
      "type": "name",
      "properties": {
         "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
      }
   }
}
```


図 2-8 エラー時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName,
featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-9 エラー時のサンプルイメージ

2.3.11 データ種別：OD 交通量　都道府県　乗用車　着ゾーン

「データ種別：OD 交通量　都道府県　乗用車　着ゾーン」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-23 バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-24 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	OD 交通量の都道府県 乗用車着ゾーンの値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

(a) パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-25 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_arzone_pref_passenger_car"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
7	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
8	cql_filter	Y		CQLフィルター項目をAND条件で指定する。 ・発ゾーンコード、着ゾーンコードを指定する場合 cql_filter="発ゾーンコード"='1234567' AND "着ゾーンコード"='2345678' AND "年度"='R03' AND BBOX("ジオメトリ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は<2.3.5 CQL フィルタ 着ゾーン>参照

(b) サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

(a) パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-26 レスポンス時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	-	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point　1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	number	ジオメトリ以外の取得情報 年度~トリップ数合計値が含まれる
10	年度	年度	string	該当データの年度
11	発ゾーンコード	発ゾーンコード	string	出発点のゾーンコード
12	着ゾーンコード	着ゾーンコード	string	到着点のゾーンコード
13	発ゾーン名称	発ゾーン名称	string	出発点のゾーン名称
14	着ゾーン名称	着ゾーン名称	string	到着点のゾーン名称
15	ゾーン発交通量（トリップ）	上りトリップ数	number	ゾーン出発点交通量（トリップ）
16	ゾーン着交通量（トリップ）	下りトリップ数	number	ゾーン到着点交通量（トリップ）
17	円図形比率	円図形比率	number	地図表示上の円図形のサイズ比率
18	作成日	作成日	string	レコードの作成日
19	更新日	更新日	string	レコードの更新日
20	交通量合計値（トリップ）	トリップ数合計値	number	ゾーン発交通量（トリップ） + ゾーン着交通量（トリップ）
21	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
22	フィーチャー致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
23	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
24	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
25	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
26	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
27	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
28	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b）　サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_arzone_pref_passenger_car.1000000001",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
               15557849.53494591,
               4259013.48482547
            ]
         },
         "geometry_name": "ジオメトリ",
```

```
        "properties": {
          "年度": "R03",
          "発ゾーンコード": "14",
          "着ゾーンコード": "15",
          "発ゾーン名称": "1",
          "着ゾーン名称": "1",
          "上りトリップ数": 20000,
          "下りトリップ数": 20000,
          "円図形比率": 0.5,
          "作成日": "2024-01-12T00:00:00Z",
          "更新日": "2024-01-12T00:00:00Z",
          "トリップ数合計値": 40000
        }
      }
   ],
   "totalFeatures": 1,
   "numberMatched": 1,
   "numberReturned": 1,
   "timeStamp": "2024-03-18T09:00:51.970Z",
   "crs": {
      "type": "name",
      "properties": {
         "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
      }
   }
}
```


図 2-10 レスポンス時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

表 2-27 エラー時のステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName, featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-11 エラー時のサンプルイメージ

2.3.12 データ種別：OD 交通量　都道府県 小型貨物車　着ゾーン

「データ種別：OD 交通量　都道府県 小型貨物車　着ゾーン」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-28 バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-29 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	OD 交通量の都道府県小型貨物車着ゾーンの値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

(a) パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-30 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_arzone_pref_small_cargo"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
7	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
8	cql_filter	Y		CQLフィルター項目をAND条件で指定する。 ・発ゾーンコード、着ゾーンコードを指定する場合 cql_filter="発ゾーンコード"='1234567' AND "着ゾーンコード"='2345678' AND "年度"='R03' AND BBOX("ジオメトリ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は＜2.3.5 CQL フィルタ 着ゾーン＞参照

(b) サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

(a) パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-31 レスポンス時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	-	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point　1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	number	ジオメトリ以外の取得情報 年度~トリップ数合計値が含まれる
10	年度	年度	string	該当データの年度
11	発ゾーンコード	発ゾーンコード	string	出発点のゾーンコード
12	着ゾーンコード	着ゾーンコード	string	到着点のゾーンコード
13	発ゾーン名称	発ゾーン名称	string	出発点のゾーン名称
14	着ゾーン名称	着ゾーン名称	string	到着点のゾーン名称
15	ゾーン発交通量（トリップ）	上りトリップ数	number	ゾーン出発点交通量（トリップ）
16	ゾーン着交通量（トリップ）	下りトリップ数	number	ゾーン到着点交通量（トリップ）
17	円図形比率	円図形比率	number	地図表示上の円図形のサイズ比率
18	作成日	作成日	string	レコードの作成日
19	更新日	更新日	string	レコードの更新日
20	交通量合計値（トリップ）	トリップ数合計値	number	ゾーン発交通量（トリップ） + ゾーン着交通量（トリップ）
21	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
22	フィーチャー致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
23	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
24	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
25	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
26	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
27	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
28	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b）　サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_arzone_pref_small_cargo.1000000001",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
               15557849.53494591,
               4253531.90822138
            ]
         },
         "geometry_name": "ジオメトリ",
```

```
        "properties": {
          "年度": "R03",
          "発ゾーンコード": "14",
          "着ゾーンコード": "15",
          "発ゾーン名称": "1",
          "着ゾーン名称": "1",
          "上りトリップ数": 20000,
          "下りトリップ数": 20000,
          "円図形比率": 0.5,
          "作成日": "2024-01-12T00:00:00Z",
          "更新日": "2024-01-12T00:00:00Z",
          "トリップ数合計値": 40000
        }
      }
   ],
   "totalFeatures": 1,
   "numberMatched": 1,
   "numberReturned": 1,
   "timeStamp": "2024-03-18T09:38:26.757Z",
   "crs": {
      "type": "name",
      "properties": {
         "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
      }
   }
}
```


図 2-12 レスポンス時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

表 2-32 エラー時のステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName,
featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-13 エラー時のサンプルイメージ

2.3.13 データ種別：OD 交通量　都道府県 普通貨物車　着ゾーン

「データ種別：OD 交通量　都道府県 普通貨物車　着ゾーン」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-33 バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-34 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	OD 交通量の都道府県普通貨物車着ゾーンの値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-35 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_arzone_pref_normal_cargo"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
7	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
8	cql_filter	Y		CQLフィルター項目をAND条件で指定する。 ・発ゾーンコード、着ゾーンコードを指定する場合 cql_filter="発ゾーンコード"='1234567' AND "着ゾーンコード"='2345678' AND "年度"='R03' AND BBOX("ジオメトリ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は＜2.3.5 CQL フィルタ 着ゾーン＞参照

（b） サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-36 レスポンス時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	-	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point 1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	number	ジオメトリ以外の取得情報 年度~トリップ数合計値が含まれる
10	年度	年度	string	該当データの年度
11	発ゾーンコード	発ゾーンコード	string	出発点のゾーンコード
12	着ゾーンコード	着ゾーンコード	string	到着点のゾーンコード
13	発ゾーン名称	発ゾーン名称	string	出発点のゾーン名称
14	着ゾーン名称	着ゾーン名称	string	到着点のゾーン名称
15	ゾーン発交通量（トリップ）	上りトリップ数	number	ゾーン出発点交通量（トリップ）
16	ゾーン着交通量（トリップ）	下りトリップ数	number	ゾーン到着点交通量（トリップ）
17	円図形比率	円図形比率	number	地図表示上の円図形のサイズ比率
18	作成日	作成日	string	レコードの作成日
19	更新日	更新日	string	レコードの更新日
20	交通量合計値（トリップ）	トリップ数合計値	number	ゾーン発交通量（トリップ） + ゾーン着交通量（トリップ）
21	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
22	フィーチャー致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
23	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
24	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
25	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
26	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
27	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
28	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_arzone_pref_normal_cargo.1000000001",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
               15557849.53494591,
```

```
                4252161.94316387
            ]
         },
         "geometry_name": "ジオメトリ",
         "properties": {
            "年度": "R03",
            "発ゾーンコード": "14",
            "着ゾーンコード": "15",
            "発ゾーン名称": "1",
            "着ゾーン名称": "1",
            "上りトリップ数": 20000,
            "下りトリップ数": 20000,
            "円図形比率": 0.5,
            "作成日": "2024-01-12T00:00:00Z",
            "更新日": "2024-01-12T00:00:00Z",
            "トリップ数合計値": 40000
         }
      }
   ],
   "totalFeatures": 1,
   "numberMatched": 1,
   "numberReturned": 1,
   "timeStamp": "2024-03-18T09:14:24.761Z",
   "crs": {
      "type": "name",
      "properties": {
         "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
      }
   }
}
```


図 2-14 レスポンス時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

表 2-37 エラー時のステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName,
featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-15 エラー時のサンプルイメージ

2.3.14 データ種別：OD 交通量　都道府県 車種計　着ゾーン

「データ種別：OD 交通量　都道府県 車種計　着ゾーン」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-38　バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-39 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	OD 交通量の都道府県車種計着ゾーンの値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-40 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_arzone_pref_total"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
7	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
8	cql_filter	Y		CQLフィルター項目をAND条件で指定する。 ・発ゾーンコード、着ゾーンコードを指定する場合 cql_filter="発ゾーンコード"='1234567' AND "着ゾーンコード"='2345678' AND "年度"='R03' AND BBOX("ジオメトリ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は<2.3.5 CQL フィルタ 着ゾーン>参照

（b） サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-41 レスポンス時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	-	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point 1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	number	ジオメトリ以外の取得情報 年度~トリップ数合計値が含まれる
10	年度	年度	string	該当データの年度
11	発ゾーンコード	発ゾーンコード	string	出発点のゾーンコード
12	着ゾーンコード	着ゾーンコード	string	到着点のゾーンコード
13	発ゾーン名称	発ゾーン名称	string	出発点のゾーン名称
14	着ゾーン名称	着ゾーン名称	string	到着点のゾーン名称
15	ゾーン発交通量（トリップ）	上りトリップ数	number	ゾーン出発点交通量（トリップ）
16	ゾーン着交通量（トリップ）	下りトリップ数	number	ゾーン到着点交通量（トリップ）
17	円図形比率	円図形比率	number	地図表示上の円図形のサイズ比率
18	作成日	作成日	string	レコードの作成日
19	更新日	更新日	string	レコードの更新日
20	交通量合計値（トリップ）	トリップ数合計値	number	ゾーン発交通量（トリップ） + ゾーン着交通量（トリップ）
21	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
22	フィーチャー致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
23	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
24	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
25	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
26	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
27	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
28	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_arzone_pref_total.1000000001",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
```

```
                15557849.53494591,
                4252161.94316387
            ]
         },
         "geometry_name": "ジオメトリ",
         "properties": {
            "年度": "R03",
            "発ゾーンコード": "14",
            "着ゾーンコード": "15",
            "発ゾーン名称": "1",
            "着ゾーン名称": "1",
            "上りトリップ数": 20000,
            "下りトリップ数": 20000,
            "円図形比率": 0.5,
            "作成日": "2024-01-12T00:00:00Z",
            "更新日": "2024-01-12T00:00:00Z",
            "トリップ数合計値": 40000
         }
      }
   ],
   "totalFeatures": 1,
   "numberMatched": 1,
   "numberReturned": 1,
   "timeStamp": "2024-03-18T09:14:24.761Z",
   "crs": {
      "type": "name",
      "properties": {
         "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
      }
   }
}
```


図 2-16 レスポンス時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

表 2-42 エラー時のステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName, featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-17 エラー時のサンプルイメージ

2.3.15 データ種別：発生・集中交通量　都道府県　乗用車　発集量

「データ種別：発生・集中交通量　都道府県　乗用車　発集量」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-43 バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-44 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	発生・集中交通量の都道府県　乗用車発集量の値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-45 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_btz_pref_passenger_car"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
7	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
8	cql_filter	Y		CQLフィルター項目をAND条件で指定する。 ・年度、時間帯、発集種別を指定する場合 cql_filter="年度"='R03' AND "目的コード"='01' AND "発集種別"=1 AND BBOX("ジオメトリ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は<2.3.6 CQLフィルタ 発集量>参照。

（b） サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-46 レスポンス時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	array	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point 1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	object	ジオメトリ以外の取得情報 年度～更新日が含まれる
10	年度	年度	string	該当データの年度
11	目的コード	目的コード	string	該当データの移動目的コード
12	目的名称	目的名称	string	該当データの移動目的名称
13	都道府県コード	都道府県コード	string	該当拠点の都道府県コード
14	都道府県名称	都道府県名称	string	該当拠点の都道府県コード
15	発集種別	発集種別	number	1:発生量、2:集中量、3:発集量
16	交通量	交通量	number	発集種別に該当する交通量
17	作成日	作成日	string	レコードの作成日
18	更新日	更新日	string	レコードの更新日
19	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
20	フィーチャ一致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
21	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
22	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
23	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
24	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
25	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
26	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_btz_pref_passenger_car.1000000024",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
               15556736.34003798,
               4254902.04483156
```

```
            ]
        },
        "geometry_name": "ジオメトリ",
        "properties": {
            "年度": "R03",
            "目的コード": "08",
            "目的名称": "分類外",
            "都道府県コード": "1",
            "都道府県名称": "test",
            "発集種別": "1",
            "交通量": 124,
            "作成日": "2023-12-25T00:00:00Z",
            "更新日": "2023-12-25T00:00:00Z"
        }
      }
   ],
   "totalFeatures": 1,
   "numberMatched": 1,
   "numberReturned": 1,
   "timeStamp": "2024-03-19T06:12:39.403Z",
   "crs": {
      "type": "name",
      "properties": {
         "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
      }
   }
}
```


図 2-18 レスポンス時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

表 2-47 エラー時のステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName, featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-19 エラー時のサンプルイメージ

2.3.16 データ種別：発生・集中交通量　都道府県　小型貨物車　発集量

「データ種別：発生・集中交通量　都道府県　小型貨物車　発集量」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-48 バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-49 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	発生・集中交通量の都道府県　小型貨物車　発集量の値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-50 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_btz_pref_small_cargo"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
7	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
8	cql_filter	Y		CQLフィルター項目をAND条件で指定する。 ・年度、時間帯、発集種別を指定する場合 cql_filter="年度"='R03' AND "目的コード"='01' AND "発集種別"=1 AND BBOX("ジオメトリ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は<2.3.6 CQLフィルタ 発集量>参照。

（b） サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-51 レスポンス時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	array	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point 1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	object	ジオメトリ以外の取得情報 年度～更新日が含まれる
10	年度	年度	string	該当データの年度
11	目的コード	目的コード	string	該当データの移動目的コード
12	目的名称	目的名称	string	該当データの移動目的名称
13	都道府県コード	都道府県コード	string	該当拠点の都道府県コード
14	都道府県名称	都道府県名称	string	該当拠点の都道府県コード
15	発集種別	発集種別	number	1:発生量、2:集中量、3:発集量
16	交通量	交通量	number	発集種別に該当する交通量
17	作成日	作成日	string	レコードの作成日
18	更新日	更新日	string	レコードの更新日
19	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
20	フィーチャ一致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
21	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
22	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
23	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
24	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
25	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
26	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_btz_pref_small_cargo.1000000024",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
               15556736.34003798,
               4253531.90822138
```

```
            ]
        },
        "geometry_name": "ジオメトリ",
        "properties": {
            "年度": "R03",
            "目的コード": "08",
            "目的名称": "分類外",
            "都道府県コード": "1",
            "都道府県名称": "test",
            "発集種別": "1",
            "交通量": 124,
            "作成日": "2023-12-25T00:00:00Z",
            "更新日": "2023-12-25T00:00:00Z"
        }
      }
   ],
   "totalFeatures": 1,
   "numberMatched": 1,
   "numberReturned": 1,
   "timeStamp": "2024-03-19T06:22:25.957Z",
   "crs": {
      "type": "name",
      "properties": {
         "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
      }
   }
}
```


図 2-20 レスポンス時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

表 2-52 エラー時のステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName, featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-21 エラー時のサンプルイメージ

2.3.17 データ種別：発生・集中交通量　都道府県　普通貨物車　発集量

「データ種別：発生・集中交通量　都道府県　普通貨物車　発集量」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-53 バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-54 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	発生・集中交通量の都道府県　普通貨物車　発集量の値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-55 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_btz_pref_normal_cargo"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
7	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
8	cql_filter	Y		CQLフィルター項目をAND条件で指定する。 ・年度、時刻、発集種別を指定する場合 cql_filter="年度"='R03' AND "目的コード"='01' AND "発集種別"=1 AND BBOX("ジオメトリ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は<2.3.6 CQLフィルタ 発集量>参照。

（b） サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-56 レスポンス時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	array	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point 1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	object	ジオメトリ以外の取得情報 年度~更新日が含まれる
10	年度	年度	string	該当データの年度
11	目的コード	目的コード	string	該当データの移動目的コード
12	目的名称	目的名称	string	該当データの移動目的名称
13	都道府県コード	都道府県コード	string	該当拠点の都道府県コード
14	都道府県名称	都道府県名称	string	該当拠点の都道府県コード
15	発集種別	発集種別	number	1:発生量、2:集中量、3:発集量
16	交通量	交通量	number	発集種別に該当する交通量
17	作成日	作成日	string	レコードの作成日
18	更新日	更新日	string	レコードの更新日
19	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
20	フィーチャ一致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
21	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
22	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
23	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
24	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
25	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
26	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_btz_pref_normal_cargo.1000000024",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
               15556736.34003798,
```

```
                4252161.94316387
            ]
        },
        "geometry_name": "ジオメトリ",
        "properties": {
            "年度": "R03",
            "目的コード": "08",
            "目的名称": "分類外",
            "都道府県コード": "1",
            "都道府県名称": "test",
            "発集種別": "1",
            "交通量": 124,
            "作成日": "2023-12-25T00:00:00Z",
            "更新日": "2023-12-25T00:00:00Z"
        }
    }
  ],
  "totalFeatures": 1,
  "numberMatched": 1,
  "numberReturned": 1,
  "timeStamp": "2024-03-19T06:25:22.812Z",
  "crs": {
    "type": "name",
    "properties": {
      "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
    }
  }
}
```


図 2-22 レスポンス時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

表 2-57 エラー時のステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName,
featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-23 エラー時のサンプルイメージ

2.3.18 データ種別：発生・集中交通量　都道府県　車種計　発集量

「データ種別：発生・集中交通量　都道府県　車種計　発集量」についての情報を記載します。

(1) バージョンと文字コード

以下にバージョンと文字コードを記載します。

表 2-58 バージョンと文字コード

種別	バージョン	文字コード
WFS	2.0.0	UTF-8

(2) サービス種別

以下にサービス種別を記載します。

表 2-59 サービス種別

No	サービス種別	概要	リンク
1	WFS	発生・集中交通量の都道府県　車種計発集量の値をもとにした特定のフィルタ条件に合致する地物の属性情報を取得できる。	

(3) WFS

(A) リクエスト

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-60 リクエスト時のパラメーター一覧

No.	パラメータ名	必須	デフォルト値	説明
1	service	Y		"WFS"を指定する。
2	version	Y		"2.0.0"を指定する。
3	request	Y		"GetFeature"を指定する。
4	typeNames	Y	null	レイヤ名(物理)を半角カンマ区切りで指定する。 "t_od_btz_pref_total"を指定する。
5	srsName	Y		"EPSG:3857"を指定する。
6	outputFormat	Y		レスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はGeoJSON形式となる。
7	exceptions			エラーレスポンスの形式を指定する。 "application/json"を指定した場合はJSON形式、未指定時はXML形式となる。
8	cql_filter	Y		CQLフィルター項目をAND条件で指定する。 ・年度、時刻、発集種別を指定する場合 cql_filter="年度"='R03' AND "目的コード"='01' AND "発集種別"=1 AND BBOX("ジオメトリ",130,30,135,35,'EPSG:3857') ※詳細は<2.3.6 CQLフィルタ 発集量>参照。

（b） サンプル

リクエスト時のサンプルは共通のものとなりますので、上記「2.3.2 サンプル」をご確認ください。

(B) レスポンス

以下にパラメータとサンプルを記載します。

（a） パラメータ

パラメータは以下の通りです。

表 2-61 レスポンス時のパラメーター一覧

No.	論理項目名	物理項目名	型	説明
1	GeoJSONオブジェクトタイプ	type	string	GeoJsonのタイプ 固定値"FeatureCollection"が入る
2	属性項目リスト	features	array	DBから取得した結果（n件）を格納する 属性項目タイプ、ジオメトリ、ジオメトリ属性名、プロパティで1件とする
3	属性項目タイプ	type	string	取得結果1件毎のデータタイプ 固定値"Feature"が入る
4	id	id	string	「物理レイヤ名.一意識別子」を設定する。
5	ジオメトリ	geometry	string	ジオメトリ情報 ジオメトリオブジェクトタイプ、ジオメトリオブジェクト文字列が含まれる
6	ジオメトリオブジェクトタイプ	type	string	ジオメトリの表示方法 Point　1箇所を点で表示
7	ジオメトリオブジェクト文字列	coordinates	string	ポイント情報
8	ジオメトリ属性名	geometry_name	string	固定値"ジオメトリ"が入る
9	プロパティ	properties	object	ジオメトリ以外の取得情報 年度~更新日が含まれる
10	年度	年度	string	該当データの年度
11	目的コード	目的コード	string	該当データの移動目的コード
12	目的名称	目的名称	string	該当データの移動目的名称
13	都道府県コード	都道府県コード	string	該当拠点の都道府県コード
14	都道府県名称	都道府県名称	string	該当拠点の都道府県コード
15	発集種別	発集種別	number	1:発生量、2:集中量、3:発集量
16	交通量	交通量	number	発集種別に該当する交通量
17	作成日	作成日	string	レコードの作成日
18	更新日	更新日	string	レコードの更新日
19	フィーチャ総件数	totalFeatures	number	要求に一致したデータ数
20	フィーチャ一致件数	numberMatched	number	要求に一致したデータ数
21	フィーチャ返却件数	numberReturned	number	取得したデータ数
22	タイムスタンプ	timeStamp	string	データを取得した日時
23	座標参照系プロパティ	crs	object	座標参照系の情報
24	座標参照系項目タイプ	type	string	固定値"name"が入る
25	座標参照系項目プロパティ	properties	object	crsのプロパティ
26	座標参照系名称	name	string	指定するCRSの形式 srsNameで指定した座標系に従う

（b）　サンプル

サンプルは以下の通りです。


```
{
   "type": "FeatureCollection",
   "features": [
      {
         "type": "Feature",
         "id": "t_od_btz_pref_total.1000000024",
         "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
               15556736.34003798,
               4252161.94316387
            ]
         },
         "geometry_name": "ジオメトリ",
         "properties": {
             "年度": "R03",
             "目的コード": "08",
```

```
            "目的名称": "分類外",
            "都道府県コード": "1",
            "都道府県名称": "test",
            "発集種別": "1",
            "交通量": 124,
            "作成日": "2023-12-25T00:00:00Z",
            "更新日": "2023-12-25T00:00:00Z"
         }
      }
   ],
   "totalFeatures": 1,
   "numberMatched": 1,
   "numberReturned": 1,
   "timeStamp": "2024-03-19T06:25:22.812Z",
   "crs": {
      "type": "name",
      "properties": {
         "name": "urn:ogc:def:crs:EPSG::3857"
      }
   }
}
```


図 2-24 レスポンス時のサンプルイメージ

(C) エラーコード

以下にエラー時の対応情報を記載します。

（a） ステータスコード

表 2-62 エラー時のステータスコード

エラー時ステータスコード	400

（b） サンプル

サンプルは以下の通りです。

```
{
    "version":"2.0.0",
    "exceptions":[
        {
            "code":"MissingParameterValue",
            "locator":"GetFeature",
            "text":"The query should specify either typeName,
featureId filter, or a stored query id"
        }
    ]
}
```

図 2-25 エラー時のサンプルイメージ

第3章 用語集

用語	フリガナ	定義
API	エーピーアイ	外部のアプリケーションやプログラムからのリクエスト(要求)に対し、 一定の情報を提供するためのサービス。 Application Programming Interface の略
HTTP リクエスト	エイチティーティーピー リクエスト	一方から他方へ送信される、何らかの要求、あるいは、メッセージの こと。本書の場合、API を呼び出す行為とそのために必要なデータ のことを表す
HTTP レスポンス	エイチティーティーピー レスポンス	リクエストを受けた対象(サーバ)が処理の結果をリクエスト元に返す こと。あるいは返すデータを指す
UTF-8	ユーティーエフエイト	Unicode/UCS で定義された文字集合を表現することができる文 字コード（符号化方式）の一つ。一文字を 1～6 バイトの可変 長で表現するもので、様々な言語の文字を扱える文字コードとして は世界的に最も普及している。正式名称は、ISO/IEC 10646 では “UCS Transformation Format 8”、Unicode では “Unicode Transformation Format-8” という。
エンドポイント	エンドポイント	ネットワークに接続された端末のアドレス。本 API におけるエンドポ イントは、API にアクセスするための URI を指す
リクエストパラメータ	リクエストパラメータ	API 利用時にサーバへ送る URI のうち、'?'以降の検索条件を表す部分
パラメータ	パラメータ	ログラムの動作を決定するために指定する数値や文字列